

ICTを活用して、より効率よく分かりやすく

喜多方市では、国のGIGA構想に伴って、全教室にプロジェクターを、そして、教師用タブレット及び児童、生徒用タブレットを導入しました。（現在は、プロジェクターと教師用タブレットが使用可能です。）

本校では、3学期始めに、これらの機器の使用法についての研修を行い、各クラスで活用を進めています。画像は、6年生外国語科の学習の様子です。黒板には、子ども達の持っている教科書と同じものが映し出されていて、子ども達は、先生がどこの説明をしているのかが、今までよりも分かりやすくなっています。

また、モニターには、動画が映し出され、ネイティブな発音の言葉を聞くことができます。児童、生徒用のタブレットも、現在設定作業を進めており、今年度中には、子ども一人一人に渡すことができるかと思っています。これからもっと、ICT機器をうまく活用しながら、より効率的な学習を進められるようにしていきます。



6年生の外国語科の学習の様子

どろ団子作りに挑戦！

1月27日（水）、2年生が「ものづくり体験教室」で、どろ団子作りに挑戦しました。この活動は、厚生労働省委託業務「目指せマイスター」プロジェクト「ものづくり体験教室」として実施しました。会津地区で左官業をされている方の中で、ものづくりマイスターの資格を取得された方々が、本校においでくださいました。はじめに、壁に漆喰を塗る作業を見せいただきました。子ども達は、その見事な手さばきに思わず、感嘆の声を上げていました。そして、どろ団子作りに入ると、マイスターの方々が丁寧に指導をしてくださり、子ども達は夢中になって、作業に取り組んでいました。できあがった作品は、とてもピカピカしていてきれいでした。子ども達は、ものを作ることに楽しさを、強く感じていました。また、2月には、1年生が同じ活動に取り組む予定です。



どろ団子作りに取り組む子ども達

会津型でカレンダー作り

1月28日（木）、5年生が「会津型（染め物）教室」に取り組みました。今回は、12月に切り抜いた型紙を使っての刷り上げる作業で、グループの友達と協力して、カレンダーに仕上げていました。

出来上がったカレンダーを、手にした子ども達は、とてもうれしそうでした。

喜多方の伝統である「会津型」の体験に、取り組むことで喜多方の素晴らしさを、実感することができました。これからも、郷土の素晴らしさについて触れる機会を持っていきます。



刷り上がったカレンダーを手にする子ども達